

電解研磨の歴史とともに歩み 多角的な事業展開を推進

昭和38年から、主にステンレス鋼の電解研磨に携わる八剣電解株式会社。昭和59年には業界で初めて真空ポット内面の電解研磨を実用化させるなど、日本における電解研磨の歴史とともに歩み続けてきた。この10年は、クリーンな環境保持を必要とする製薬会社などからの依頼が増加。配管、熱交換器、タンク、バルブといった製造設備内部の電解研磨、不動態化被膜加工、薬品洗浄による滅菌処理などが主な内容だ。

工場での処理のほか全国各地での施工実績も多く、異物混入防止のスペシャリストとして存在感を高めている。

住 所 | 〒570-0002 大阪府守口市佐太中町2-34-4
TEL | 06-6902-2221 FAX | 06-6902-8035
創 業 | 昭和22年4月 設 立 | 昭和35年4月
資本金 | 1,000万円 従業員 | 20名
H P | <https://yatsurugi-d.co.jp/>

■主な事業内容
機械設備・製造設備の電解研磨、不動態化処理等

■主な取引先（納品先）
製薬会社、食品会社ほか



WEBサイト



八剣電解株式会社



代表取締役

片桐 一真さん

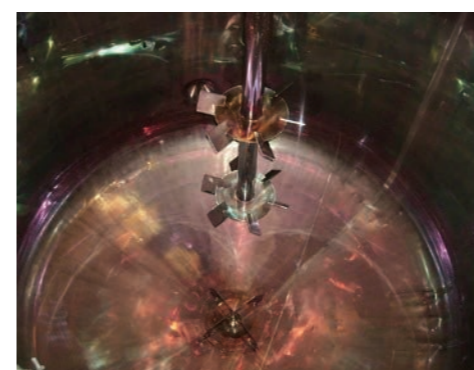
クリーン化意識が高まる社会で 安全・安心を支える存在に

製薬会社や食品会社の製造ラインでの異物混入は、製品の信頼性に関わる重大なリスクです。製造設備のクリーン化に対する企業の意識は、年々厳しくなってきました。この配管やタンク、バルブなどの内部クリーン化に役立つのが、電解研磨の技術です。

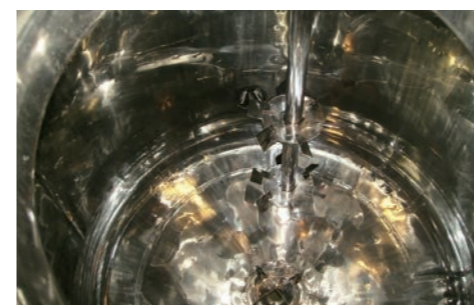
製造ラインは、適切に管理していても経年劣化により滅菌状態が失われる恐れもあります。修繕の時期や内容は、専門家でなければ判断が困難。私たちは、職人が磨き上げてきた電解研磨の技術力と専門の知見をクリーン化に役立て、社会の安全と安心を見えない力で支えてまいります。



配管部品



クリーン洗浄前



クリーン洗浄後

極み 保守のコンサルティングから 専門職人による 現地施工まで

製薬や食品関連会社における製造ラインへの異物混入は、企業存続にも関わる重大事。数多くの実績を持つ同社は、全国各地で製造設備の洗浄・メンテナンスのコンサルティングに携わっている。専門職人による現地施工が可能なのも、大きな強みだ。

取り組み 案件ごとに担当者を設定。 多能工化で不測の事態に 対応

業務では薬品を取り扱うため、規制遵守と事故リスク軽減が重要だ。そのため、取引先からの案件ごとに担当者を設定し、業務全体の流れを管理。また、電解研磨、不動態化、薬品洗浄の各処理を1人で担う多能工化により、不測の事態への対応に備えている。

今後の展開 維持管理の人員が 減少する中専門家として 提案力を強化

近年では人手不足に伴う省人化の進展で、顧客の工場で製造設備の維持管理を行う人員は縮小傾向だ。今後は、豊富な実績と知見を基に、設備の経年劣化による将来的な異物混入リスクの予測や、適切な修繕・メンテナンスに関する提案力の強化に取り組んでいく。

ポイント

福利厚生・働く魅力 職場環境

リスク教育徹底と
働きに見合う給与。
工場残業もゼロに



摂津工場

薬品を扱う仕事は規制が多く、取り扱いを誤ると事故のリスクもある。このため、社員教育では単に知識や技能を習得させるだけでなく、危機意識やリスクに対する向き合い方についても丁寧に指導している。

また、より多くの知見を仕事に活かせるよう、お客様の相談内容に対し社員が寄り合って考えアイデアを出せる場づくりにも取り組む。このほか、社員の給与と働きに見合った待遇にできるように評価体制を作るとともに、工場での残業をゼロにするなど、社員ファーストの考えに基づいた施策を推進。さらに、長年にわたって勤め続けている社員を大切にする労務管理により、離職率は低い。